平成22年3月定例議会（3月2日～19日）

平成22年度予算編成趣旨

「鏡野町財政健全化計画」等に基づき財政健全化に向けた基本的方向性を維持し、行政支出を徹底して見直すことにより財政支出の削減に努めながらも、活力あふれる地方の時代にふさわしい町政の発展と住民福祉の向上のため、各種施策を展開するための予算として編成しました。

本年度の特別会計を含む歳入歳出予算総額は147億85万円、一般会計の歳入歳出予算総額は97億3400万円となっています。

一般会計の歳入の構成比は、地方交付税が43・3％と最も大きく、次いで町税22・1％、町債9・3％、県支出金9・3％等となっています。

また歳出の構成比は、民生費が20・5％と最も大きく、次いで公債費19・8％、総務費17・2％、土木費10・6％等の順となっています。

主要施策の概要

一般会計

◆総務費

【総　務】

経常経費等の徹底した節減、人事評価制度及び行政評価システムの運用に努めます。また、電子入札システム及び工事管理システムの運用により、公共工事の入札及び契約の適正化に努めます。

【企　画】

未来・希望基金事業、地域づくり推進事業、美しい町づくり事業に取り組みます。

【国際交流】

中学生のシンガポール派遣、訪問団の受入等の交流を推進します。

【原子力】

原子力施設の安全性、必要性を広く普及します。

【町営バス】

地域住民の生活交通として運行します。

【戸　籍】

現行の電算化システムにより、事務処理の迅速かつ適正な運用に努めます。

【情報化】

全町の情報管理と、均一した行政情報の提供ができる施設整備の検討、携帯電話の不感地区解消のため、通信鉄塔整備に取り組みます。

【広報紙】

親しみやすさを目指し、町内の出来事やお知らせを中心に情報提供します。

【有線テレビ】

デジタル及びアナログの地上波放送並びにインターネットサービスの提供、町内の出来事や関心のある番組を制作し、放送します。

◆民生費

【社会福祉】

社会を明るくする運動や人権啓発活動の展開、心配ごと相談事業の実施や要援護者の見守りを行います。

【障害者福祉】

地域での自立と安心した生活を支えるサービスづくりを進めます。

【老人福祉】

福祉施設の充実とサービス提供に努めます。

【児童福祉】

子ども手当の支給、より充実した保育園の運営と、放課後児童クラブの建設・運営に取り組みます。

◆衛生費

【母子保健】

子育て支援センターの運営と、安心して子育てができる環境づくりを推進します。

【成人・老人保健】

特定健康診査や特定保健指導、適切な知識の普及、自らに応じた生活習慣の改善を進めます。

【がん検診】

病気の早期発見、早期治療に努めます。

【予防接種】

新しく肺炎球菌の予防接種補助を行い、疾病の予防に努めます。

【環　境】

資源ごみの分別収集の推進、不法投棄防止対策と、資源ごみ集団回収奨励金制度を新たに設け、ごみの減量化に取り組みます。

津山圏域資源循環施設組合が用地造成工事に着手し、建設に向けて前進します。

◆農林水産業費

【農　業】

かがみの農業持続化事業に取り組み、耕作放棄地の解消、集落営農組織の育成等を目指します。

また、中山間地域等直接支払交付金事業や、農地・水・環境保全向上対策に取り組む集落等の支援を引き続き行い、特産品づくりを進めます。